

ほしの雅春ニュース

発行・星野雅春後援会
所在地・刈谷市高須町
電話・23-5650
編集責任者・星野雅春
毎月30日発行・無料

「お出かけタクシー」で補完する！

稲沢市のタクシー事業に学ぶ・無料「かりまる」の不便なところ・

97才の高齢者の運転する車の暴走、死亡事故には驚かされました。免許返納は頭になかったのか、移動が難しく、返納できない家庭の事情があったのかもしれないが、痛ましい高齢者の事故を減らす仕組みが必要です。妊婦さんも応援したい！稲沢市に友人がいる「近所さん」からの声を政策提案しました。

星野はすべての議会で一般質問に登壇しています。そしてその質問テーマは、市民の何気ない会話や出来事を政策として反映するように心がけています。今回は稲沢市に友人を持つ人からの情報でした。

不便の声で マインド交通

稲沢市では、75歳以上の高齢者、妊婦さん、産後1年未満の人に対して、「稲沢市お出かけタクシー」事業としてタク



ほしの雅春 市議

シー代の半額の補助をされています。刈谷市では福祉事業として、障害のある方、介護認定を受けた人達にタクシーチケットを支給しています。稲沢市が実施する対象者は含まれていません。最近高齢者の暴走運転による死亡事故が多発していて、運転免許返上したいけれど、生活が成り立たないことからなかなか踏み切れないとの声も聴きます。市内循環バスは無料で便利ではあるものの、「時間がかかる」「便数が少ない」との不便さもあります。そこで考えられているのが「デマンドタクシー」です。デマンドタクシーは、あらかじめ行き先を届けておくと、行先

が同じ、または近くの人を複数送り届けるなどの方式です。目的地であったり、バス停であったりします。この方式は全国で実施されていますが、行きたい時に、行きたい所に行けず、不便という声も聞きます。「お出かけタクシー」であれば、自宅から病院、スーパーから自宅を片道分

で行くことができず、妊婦さんにとっては、事故によるリスクも高く、安全、安心な移動が可能になります。刈谷市は現在、市内の巡回バス「かりまる」の有料化を含めた、バス運行計画を策定中です。現在「かりまる」には年約68万人が利用されています。アンケートでは、便利になるならば有料化もやむを得ないとしています。しかし仮に安城や高浜のバスのように1回1000円としても、68万人乗っても収入は6800万円にすぎません。バス事業全体では4億円弱費消しています。利便性を求めれば経費に際限がありません。無料バスの不便なところは「お出かけタクシー」で補う、これしかないと思います。高齢者の免許返上を促し、不幸な事故を減らすため子育て支援につながる「お出かけタクシー」実現を強く求めました。

青雲の聲

宗教法人などの悪質な勧誘や高額寄付、「地獄に落ちる」などの脅迫ともとれる宗教活動での被害者救済と再発防止のための法律が成立した。正しい判断ができなくなるマインドコントロールされた状態での「不幸が訪れる」などと魔の手が及び寄り、借金してまでの献金を迫られる。どこかで聞いたことある話だな。国は5年間で43兆円の予算で防衛力を整備するとか。「北のミサイルが飛んでくる」「中国が攻めてくる」と繰り返して、「敵基地攻撃能力」を備える。財源は増税、国債という名の借金。まさか武器はアメリカの旧式兵器の在庫処分品を高く買わされたりしないよね、「壺」じゃあるまいし。防衛予算増、増税ありきではヘンだろ！マインドコントロールされているのは一体どれか？それが問題だ。嗚呼

「議会改革」を通して「議会品質」を高める・・ほしの雅春

稲沢お出かけタクシー
を利用しませんか？

利用料金
「タクシー運賃+送車回送料」の2分の1

対象者
①75歳以上の方
②障害者手帳等をお持ちの方
③妊婦または出産後1年未満の方

運行日時
月曜日～土曜日 午前8時30分から午後5時まで

運行区域
「自宅(稲沢市に限定)」と「市内の目的地」間
※ 料金は「送車回送料」のみ可也

ご利用が可能なエリアはコチラ

稲沢市のお出かけタクシー

こちらから
どうぞ。



有機食材は手間も時間もかかり、価格が高くなります・・がしかし

これが

子供たちの命と健康を守る！最優先だ！

大きな潮流となる「給食のオーガニック化」

刈谷市議会議員 ほしの雅春

市民から提出された「給食のオーガニック化の推進を求める請願」はあっさり否決されましたが、この流れは止められない・・

12月議会文教委員会、給食のオーガニック化推進を求める請願の紹介議員を代表して、請願趣旨の説明をした星野。請願趣旨を公開します。12月8日は「有機農業の日」だそうです。有機農業推進法が制定されて10周年を迎えた記念日です。さて給食のオーガニック化への運動の発端は、40年以上前にはほとんど見られなかったアトピーや、食物アレルギーが現在では3人に一人が発症していることから始まっています。

児童生徒、8%超障害

また、2000年以降では、日本やヨーロッパで発達に障害のある子供たちが急増していきましました。この時すでに、農薬や有害な環境化学物質によって子供たちの

活用した学校給食の課題を克服するための経費支援を開始しています。刈谷市が学校給食に採用できない理由として

「コスト高」などの課題を克服するための支援が用意されています。さらに国は、国の施設内の食堂ではできるだけ有機農産物を使用する方針を打ち出しています。一方生産者であるJAの一部では「有機農産物で付加価値を付けた農業でしか生き残れない」「農業所得を保障してもらえないなら役割を担

オーガニック給食の先進都市千葉県いすみ市の取り組みはこちらからどうぞ！



える」との声もあります。このように社会全体は「農業のオーガニック化」「オーガニック農産物での学校給食」の実現に向けた大きな潮流は止められないことです。有機農業は「生物の多様性」「SDGSの推進」「脱炭素」にも大きく貢献



11月26日土曜日、3年ぶりに「ほしの雅春後援会総会、市政報告会」を開催しました。総会では、現会長の加藤年春さんが引き続き会長を担っていくことが確認されました。その後刈谷市議会での星野の取り組みを、一般質問、委員会質疑などから

来年の改選！

挑戦続ける！決意新たに

刈谷市議会議員 ほしの雅春

報告しました。星野は、政治に信頼を！を掲げ、市民の皆さんに「すべての本会議で質疑する」「ほしの雅春ニュースの毎月発行」「市政報告会の開催」を約束しました。コロナ禍で十分とは言えないものの、市民の声を市政に反映してきて感じています。そしてこのまま議員として



編集後記

何十兆円というお金が動く防衛費。自国一國で国民を守ることができるとは数少ない。他國と同盟関係を強化することや、必要な防衛費の予算化は否定しない。だが、こちらは大幅な増額に、きつしー総理出産一時金42万円を50万円にする胸を張った。なんとショボイおっちゃんかと涙が出る。増額の一部は、75歳以上の高齢者の負担となる、こちらは切なすぎる。コロナの影響もあり、今年の出生数は80万人を切るのか。仮に100万人に倍増の100万円支給しても1兆円だ。今年もコロナで始まり、ウクライナ戦争、円安、物価高騰と続き、暗い世相だったが、サッカーワールドカップが一時忘れさせてくれた。来年はきつと希望に満ちたい年になるはずだ！そう思おう！

